

電動車いす「メカナムカートーBa」

成果発表会

佐渡産業創造塾

ものづくりチームの取組み

産業振興や人口減少の歯止めを目的に、佐渡市と島内企業とで取り組む「島の応援団」事業の一環として、工業系製造業中心に活動している佐渡産業創造塾のご紹介です。

佐渡産業創造塾では、各企業の技術向上と研究開発型企業への転換を目標に、企業の経営陣をはじめとする社員を対象として、月1回程度の講演会を実施しています。内容は、経営マネジメントやものづくりに関する特化したテーマなど、さまざまな講演で構成され、知識の向上はもとより、意識改革や企業間の連帯感を高める活動となっています。

その活動の中で、平成24年度に参加企業から若手を選出したものづくりチームが編成され、初年度は過熱と冷却を繰り返すスターリングエンジン、2年目は「医工連携」に重点を置き、全方向に平行移動ができるメカナムホイールの特性を活かした馬乗り型電動車いすを製作しました。

3年目である平成26年度は、6社10人のメンバーで電動車いす「メカナムカートーIーBa」を改良し、「馬乗り型」から「スタンドアップ型」へ変更

するとともに、操作性や安全性、機能について設計・加工を行いました。

写真は、平成27年3月27日に行われた成果発表会の様子です。

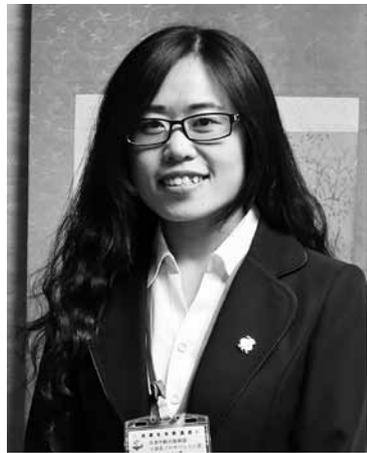
今年度も引き続き、「メイドイン佐渡」のものづくりを通して、スキルアップや連携を図ることを目的に活動していきます。

「メカナムカートーIーBa」は、今後、ものづくり系イベントや学生の職業体験等の場で島内の皆さんに試乗していただく予定です。

ぜひ、機会がありましたら試乗していただきたいと思っております。



こんにちはは国際交流員です



佐渡の皆さま、こんにちは。

私は、新しく参りました国際交流員しんりょうの庄みづな 苗ななと申します。中国山東省青島市の出身です。年齢は27歳です。

語学が好きで、青島では日系企業も多いので、大学で日本語を専門にしました。大学在学中には京都で1年間交換留学をしました。その後、大学を卒業してからJICA「人とトキが共生できる地域環境づくり」プロジェクト西安事務所に入り、トキ保護の仕事に携わりました。その関係でいつも佐渡に関心を持っていました。

今回は夢が叶い、国際交流員として憧れた佐渡に来ることができてとても嬉しいです。精一杯頑張りたいと思います。

4月10日、憧れの佐渡に到着し、いつも写真で見えていた風景が目の前で次々と現れ、雪山や海、カモメ、佐渡

おけさの人形など、思わず大きな声で叫びたくなりました。職場の皆さまのおかげで、真野公園での花見、日吉神社での鬼太鼓やトキの森公園の見学など、毎日さまざまな新しいことを体験しています。

特にトキふれあいプラザでは、ガラス1枚隔てるだけの距離でトキと触れ合うことができとても感動しました。これからもトキの数が増え、そしてトキを通じた日中の友好交流が永遠に続けられればと思います。

新人の私に対し、市長をはじめとする職場の皆さまが温かく歓迎会を開いてくださいました。佐渡の海の幸や郷土料理、また美味しいお酒を味わうことができました。

佐渡の素晴らしさをこれから1年間かけて思い切り味わっていきたくと思っています。そして、その魅力をもっと多くの人、特に中国の観光客に知ってもらいたいと思います。

一方、地元の皆さまに対しても、佐渡の良さを再認識してもらえればと思います。これからは翻訳や通訳以外にも観光案内や、中国語講座などいろいろ試みて努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。